

請 願 文 書 表

6 月定例羽生市議会

受 理 番 号	受理年月日	件 名	要 旨	提 出 者	委員会	審査結果
請 願 第 2 号	R03.05.21	再生可能エネルギー 主力電源化の実現に 向け、国への意見書 提出を求める請願	生活クラブ生活協同組合では、人間が人間らしく自然と共生して持続的に生きていくために「食料」「エネルギー」「ケア」の自給ネットワークづくりを進めてきた。その中のエネルギー政策においては「脱原発」「エネルギー自治」「CO₂削減」を基本とし、エネルギーを「減らす・つくる・つかう」ための活動と事業を続けている。2016年から自然エネルギーを中心とした「生活クラブでんき」の供給を開始し、2019年度の供給電力量7,930kWh、低圧契約件数は全国で15,834件となった。同時に省エネを推進する活動も全国で広がっており、昨年7月には生活クラブ気候危機宣言を策定し、持続可能な地球環境を保全していくための5つの実践に取り組んでいる。 2021年3月には、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故から10年の節目を迎えた。リスクを抱える原子力発電、温室効果ガスを大量に排出する石炭火力発電は、持続可能な脱炭素社会に逆行するものであると考える。 2050年カーボンニュートラル実現の鍵は、エネルギーの効率化と共に再生可能エネルギーの大幅な拡大をいち早く進めることである。エネルギー政策の基本は地域である。自治体は声を上げ、国を動かしていく力と役割があると考えます。 以下について、2030年第6次エネルギー基本計画の改定にあたり、再生可能エネルギーの電力目標を高め、主力電源化の実現に向けた意見書を提出願いたく請願する。 記 1 国は、2030年エネルギー基本計画で再生可能エネルギーの電力目標を60%以上、2050年度100%とすること 2 国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急にすすめること	羽生市東 9-9-17 生活クラブ生活協 同組合 羽生支部 運営委員長 小西 会里子	総務文教 委 員 会	趣旨採択